2025年1月期4月度 月次業績動向(2024年1月21日~2024年4月20日)

(https://www.people-kk.co.jp/)

会社名 ピープル株式会社

上場取引所 東 スタンダード

コード番号 7865

取締役兼代表執行役 桐渕真人

3kmm+7

飛田留美子 TEL:03-3862-2768

◆売上高 前年対比

(金額単位:千円)

4月度(単月)	前期:2024年1月期	当期:2025年1月期	前年同月比
乳児・知育・構成玩具カテゴリー(注1)	174, 275	165, 178	94. 8%
メイキングトイカテゴリー (注2)	22, 764	2, 178	9. 6%
その他(遊具・乗り物・育児等) (注3)	59, 472	13, 867	23. 3%
海外販売・ロイヤリティ収入	172, 596	15, 900	9. 2%
合計	429, 107	197, 123	45. 9%

2~4月度(累積)	前期:2024年1月期	当期:2025年1月期	前年同期間比
乳児・知育・構成玩具カテゴリー(注1)	275, 626	284, 548	103. 2%
メイキングトイカテゴリー (注2)	43, 066	5, 225	12. 1%
その他(遊具・乗り物・育児等) (注3)	130, 891	40, 132	30. 7%
海外販売・ロイヤリティ収入	561, 157	50, 576	9.0%
合計	1, 010, 740	380, 481	37. 6%

⁽注1)旧「乳児・知育玩具カテゴリー」。

- (注2)2.024年1月期はお人形シリーズ(ぽぽちゃんシリーズ)を含んでおります。
- (注3)「その他」には2024年1月期まで別掲しておりました「屋内遊具・乗り物カテゴリー」を含んでおります。そのため、2024年1月期の数値も組み替えております。

◆4月度発売新商品・リニューアル商品

商品カテゴリー名	商品名	標準小売価格(税込)
1 到 9 9 9 6 4 6 6 6 6 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	「ピタゴラスBASIC 知育いっぱい!きほんボックス」 「ピタゴラスBASIC 知育いっぱい!ラウンドハウス」	¥14,300 ¥9,350

◆4月度および直近TOPICS

●当4月度は、乳児・知育・構成玩具カテゴリーにおいて好調なピタゴラスシリーズより、2種のセットを新発売いたしました。

「ピタゴラスBASIC 知育いっぱい!きほんボックス」

「ピタゴラスBASIC 知育いっぱい!ラウンドハウス」





●直近のメディア掲載情報

2024/05/01 【新聞】中日新聞に、お米のおもちゃのSDGsへの取り組みに関する記事が掲載されました。(会員登録限定記事) https://www.chunichi.co.jp/article/892146

2024/05/01【雑誌・WEB】「日経デザイン」5月号・「日経クロストレンド」にて、ピープルの商品開発について掲載されました。(会員登録限定記事) https://xtrend.nikkei.com/atcl/contents/18/00985/00006/

- ●メイキングトイ、その他、海外販売、これらの前年同月および前年同期間比減の要因につきましては、下記枠内をご参照ください。
- ●当月は第1四半期最終月度にあたります。第1四半期業績の詳細および第2四半期業績予想につきましては、本日開示の「2025年1月期第1四半期決算短信[日本基準](非連結)」をご参照ください。

当社は現在、収益性の低いカテゴリーを終了させ、2026年1月期の「好奇心事業」ローンチにリソースを集中し、再び成長路線に入る計画の 途上におります。

そのため、お人形ぽぽちゃんや自転車、これら商品の製造販売を終了させたこと、また米国向け「Magna-Tiles」の販売契約が変更になったこと(※)により、当期は一時的に業績が下がることを見据えながら、2026年1月期の新事業スタートまでの短期的対策として、下記の優先順序で施策を行います。

- (1)収益性の高い、ピタゴラス、ねじハピ、やりたい放題の主力3商品にリソースを絞り、粗利益率を確保しつつ売上を確保
- (2)アジアを中心とした新たな海外販路の確保
- (3)ドラスティックな経費削減

当社の活動状況は、随時当社発信のnoteでもお伝えしております。(https://note.com/people.pr)

(※)米国向け「Magna-Tiles」の販売契約変更について

これまでの当社がディストリビューターから受注した商品をOEM販売する形態から、ディストリビューターが工場と直接取引をする傍ら当社はロイヤリティ収入を得る形態へ変更となりました。

この変更により、当該売上高はこれまでより大幅に減少するものの、社内の人的リソースを使わずにロイヤリティという形での収益が得られることとなります。

(ご参考)業績予想(2024年6月3日公表)

2025年1月期第2四半期(2024年1月21日~2024年7月20日)業績予想

	2025年1月期第2四半期 業績予想 (百万円)	前年同期間比(%)
売上高	702	△ 70.7
営業利益	△ 144	_
経常利益	△ 144	_
四半期純利益	△ 144	_